
国道202号 国体道路 の道路空間再編について 第4回協議会

令和8年3月3日
福岡国道事務所
福岡市

1. これまでの協議会の振り返り

■これまでの協議会の内容

第1回協議会	・国体道路の交通実態と課題を整理
第2回協議会	・福岡都心部の面的な交通実態から、国体道路の特性を把握 ・国体道路利用者のニーズを整理
第3回協議会	・国体道路の求められる機能や役割から、空間パターンを検討 ・ソフト施策や社会実験の事例を整理

■第3回協議会の主な委員意見

- 単路部と交差点部を分けて検討することが必要。
- 歩行者・自転車は分離できるパターンが望ましい。
- 今後社会実験を行う場合、複数のパターンを検討し評価することが望ましい。

■第4回協議会(今回)の内容

■国体道路の空間のあり方の確認

- ・これまでの協議会における **委員意見の共通事項** を踏まえて、国体道路の空間のあり方を確認。

2. 国体道路の空間のあり方について

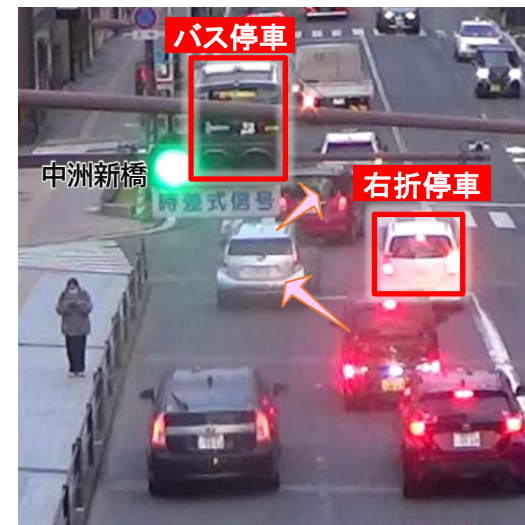
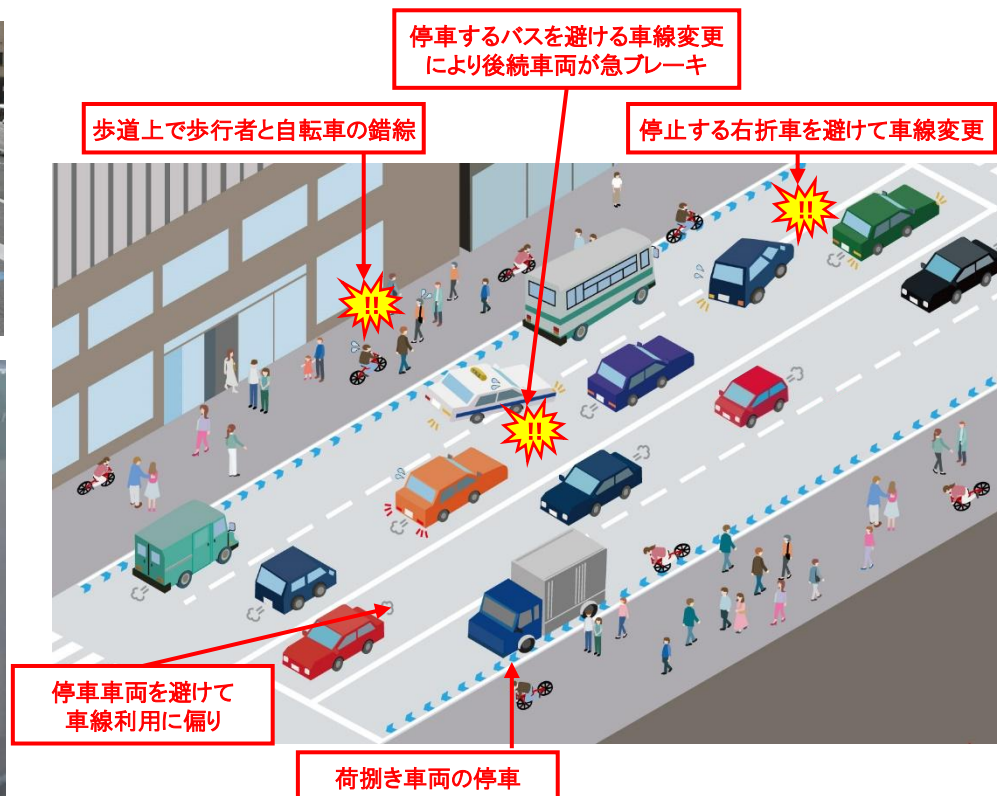
■現状の国体道路の課題

<歩行者・自転車>

狭い歩道に歩行者・自転車が錯綜し、快適性・安全性が低い

<自動車>

停止車両を避けて車線変更を繰り返すジグザグ走行により、サービスレベル・安全性が低く、車線利用に偏りがある



2. 国体道路の空間のあり方について

■これまでの協議会における委員意見の共通事項

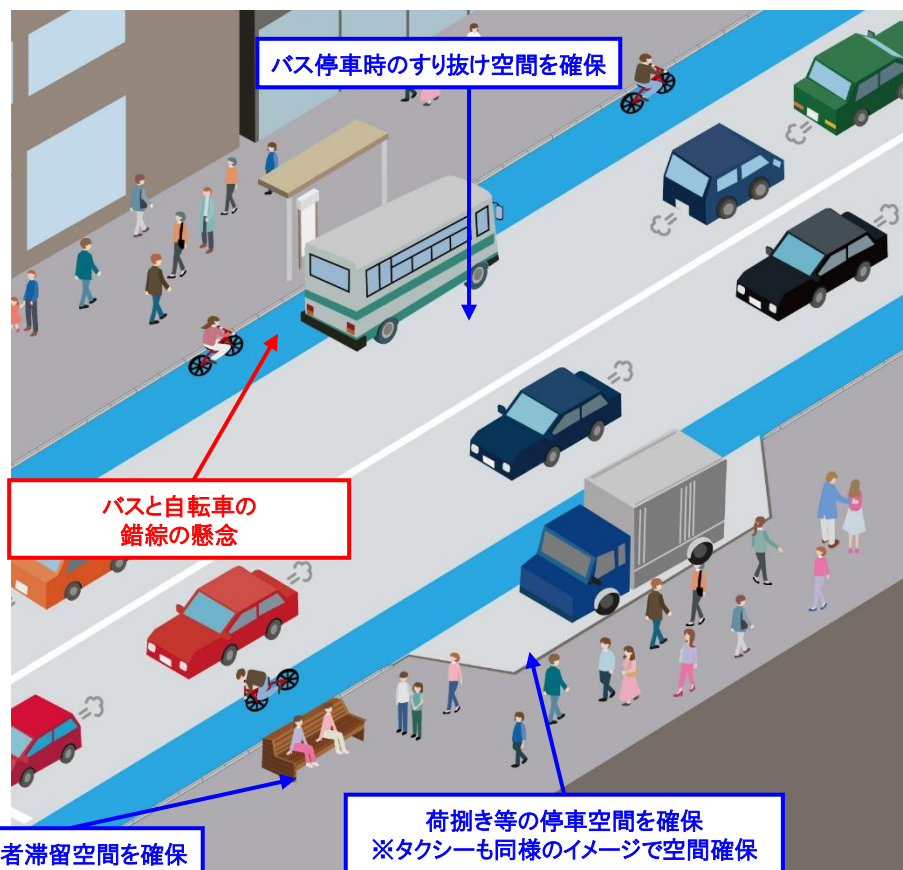
歩行者	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道上に自転車が多く走行し危険な状況であるため、歩行者と自転車を分離し、安全性・快適性を確保することが必要。
自転車	
自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた道路空間であるため、バス・荷捌き等の滞留車両の影響で上手く機能していない第一走行車線を有効活用することが必要。 ・交差点部では右左折車両の滞留空間は必要だが、交差点部以外では歩道拡幅等の可能性を検討することが必要。
バス	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者利便性の点から、上屋・ベンチの設置が必要。 ・バス停の形状については交通への影響を加味して検討が必要。
荷捌き	<ul style="list-style-type: none"> ・荷捌きの停車空間について利用実態を踏まえて設置箇所の検討が必要。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜帯はタクシーが唯一の公共交通であり、需要もあるため、タクシーの利用しやすい環境についても検討が必要。
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な空間パターンが考えられるため、社会実験等を行い効果検証する取組が必要。

2. 国体道路の空間のあり方について

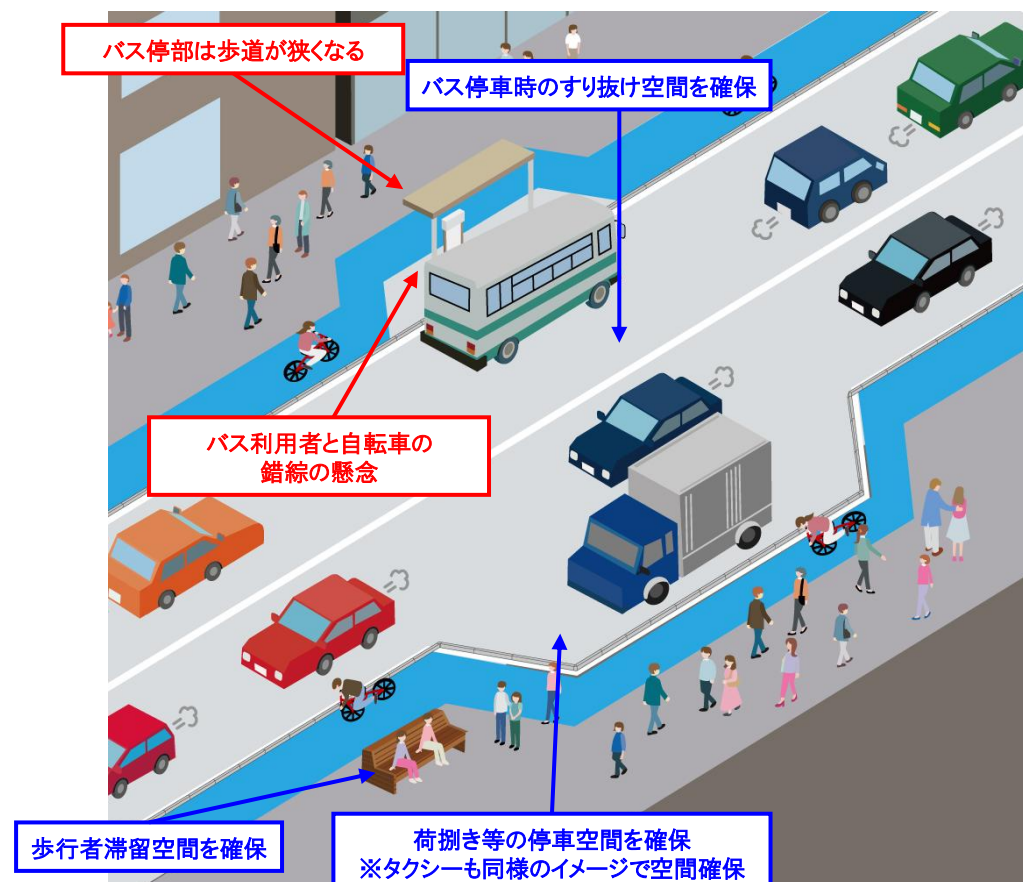
■空間のあり方(イメージ) ～単路部のイメージ～

- ＜共通事項＞
- ・歩行者と自転車を分離
 - ・第1車線の有効活用
 - ・バス停部はバス運行や利用者利便性、交通への影響を加味
 - ・荷捌き・タクシー停車の空間を設置可能な箇所に設置

パターン①自転車走行空間を車道に設置



パターン②自転車走行空間を歩道に設置

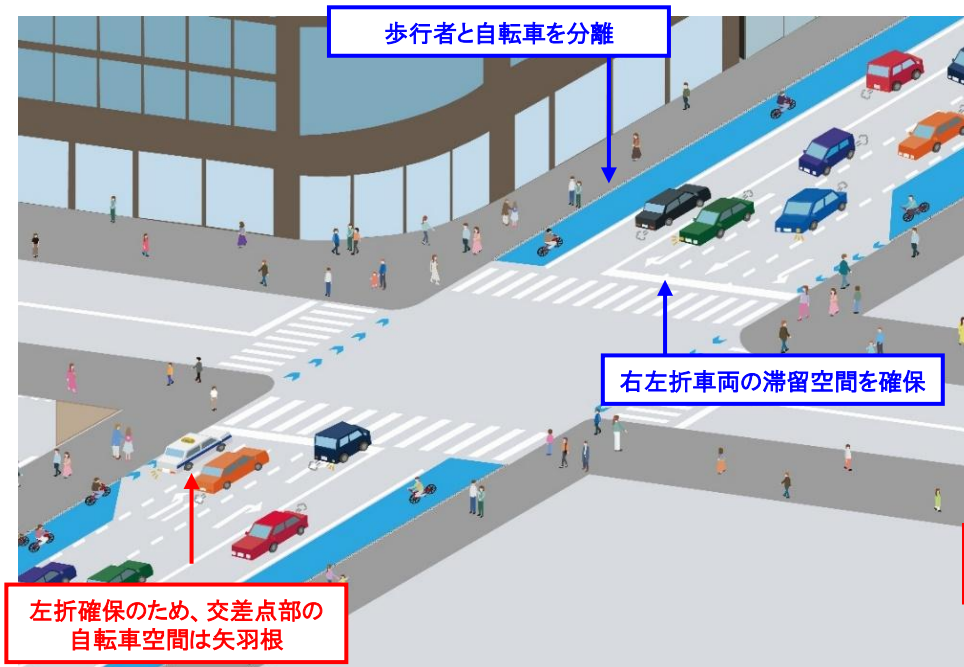


2. 国体道路の空間のあり方について

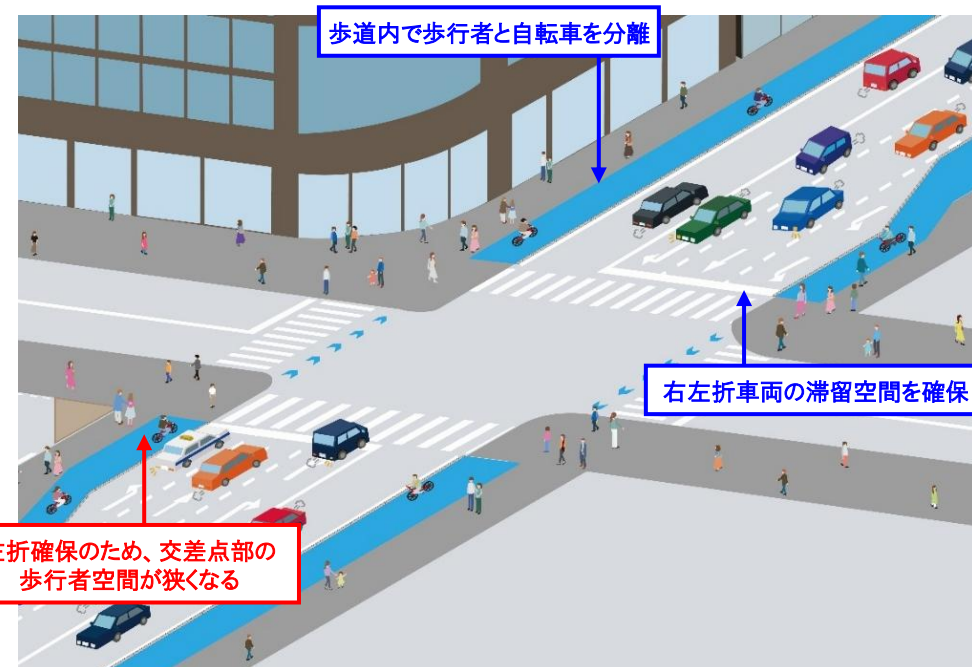
■空間のあり方(イメージ) ～交差点部のイメージ～

- ＜共通事項＞
- ・歩行者と自転車を分離
 - ・第1車線の有効活用
 - ・右左折車両の滞留空間を確保

パターン①自転車走行空間を車道に設置

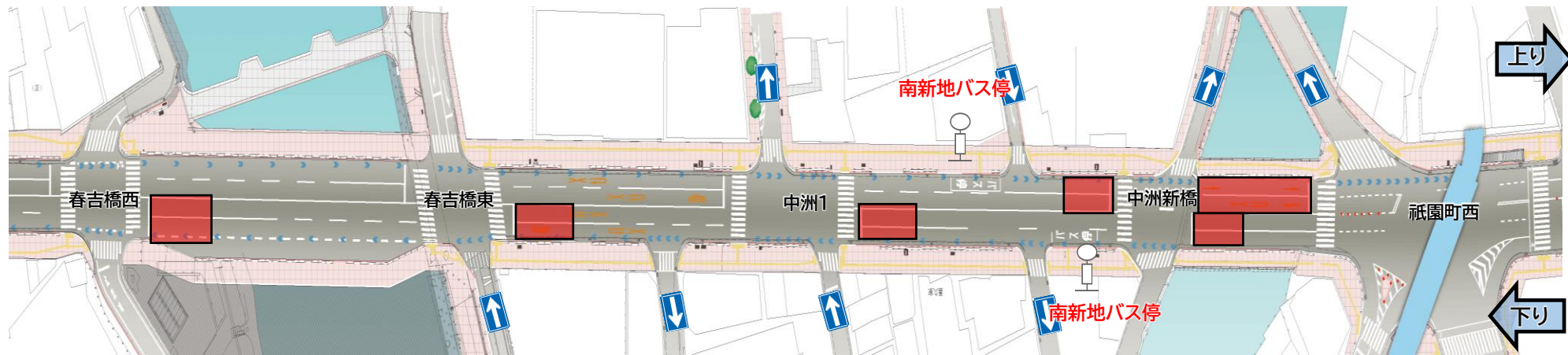
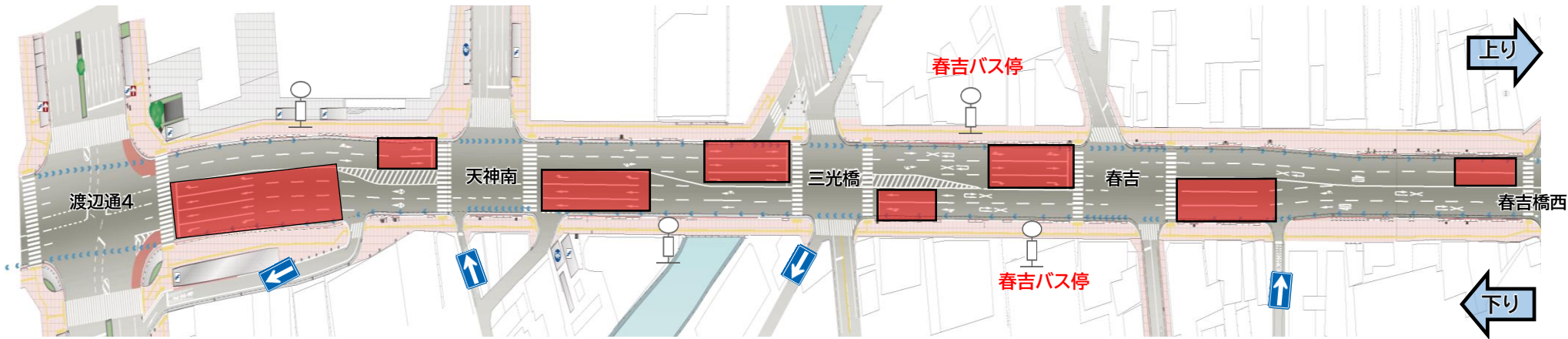


パターン②自転車走行空間を歩道に設置



2. 国体道路の空間のあり方について

■対象区間全体(祇園町西交差点～渡辺通4交差点)における交差点部と単路部の設定イメージ



: 交差点部(付加車線が必要な箇所)
 着色なし : 単路部

※交差点部: 現況の右左折車両の滞留状況に応じて設定